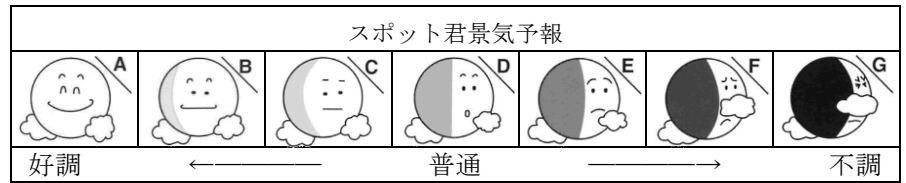


2. 目黒区内中小企業の景況（令和3年1～3月期）

（1）今期の特徴点



製造業



業況は△42.5で前期比6.7ポイント減と大きく低調感が強まった。売上額は△46.8で4.8ポイント減とやや減少幅が拡大し、収益は△50.6で6.6ポイント減とかなり減益幅が拡大し、資金繰りは△24.5で0.5ポイント増と前期並の厳しさとなった。来期の見通しについては、業況は5.2ポイント増の△37.3と厳しさが多少和らぐ見込み。

卸売業



業況は△48.0で前期比19.3ポイント増とかなり厳しさが和らいだ。売上額は△50.5で13.6ポイント増、収益は△42.5で9.6ポイント増とともに大きく減少・減益幅が縮小し、資金繰りは△28.6で7.6ポイント増とかなり窮屈感が緩和した。来期の見通しについては、業況は3.7ポイント増の△44.3と厳しさがやや和らぐ見込み。

小売業



業況は△46.1で前期比11.4ポイント減と大きく低調感が強まった。売上額は△41.7で9.3ポイント減と大幅に減少を強め、収益は△35.2で1.9ポイント減と多少減益幅が拡大し、資金繰りは△29.3で10.7ポイント減と大きく窮屈感が強まった。来期の見通しについては、業況は1.7ポイント減の△47.8と低調感がやや強まる見込み。

サービス業



業況は△56.8で前期比4.1ポイント増とやや改善した。売上額は△60.0で1.9ポイント増、収益は△55.0で1.5ポイント増とともに幾分持ち直し、資金繰りは△30.3で4.5ポイント増とやや窮屈感が緩和した。来期の見通しについては、業況は6.9ポイント減の△63.7と低調感が大幅に強まる見込み。

建設業



業況は△16.7で前期比14.4ポイント減と大きく低調感が強まった。売上額は△22.4で6.1ポイント減、収益は△23.5で10.0ポイント減とともにかなり減少・減益幅が拡大し、資金繰りは△4.2で3.3ポイント増と幾分窮屈感が緩和した。来期の見通しについては、業況は13.1ポイント増の△3.6とかなり改善する見込み。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測

